再評価結果（平成２１年度事業継続箇所）

担　当　課：中部地方整備局　街路整備課
担当課長名：中西　賢也

事業名	都市計画道路　秋葉山高向線外１線（あきばやまたかぶくせんほか１せん）	事業区分	街路	事業主体	三重県
起終点	自：三重県伊勢市中島一丁目（いせしなかしまいっちょうめ） 至：三重県伊勢市御園町高向字下三本松（いせしみそのちょうたかぶくあざさもさんぼんまつ）			延長	０．８km

事業概要

本路線は、市道八日市場宮川堤線を起点とし、新国道（県道鳥羽松阪線）を経て坂社豊浜線（県道伊勢松阪線）に至る幹線道路として都市計画決定されており、坂社豊浜線（県道伊勢松阪線）を経由して国道２３号へと接続する重要な路線である。当地域においては、ＪＲ参宮線と近鉄山田線が東西に併走し、多くの道路がこれらの鉄道と平面交差しているため交通渋滞を招いており、都市の分断の原因ともなっている。当該事業区間は、ＪＲ参宮線との交差を跨線橋により立体化するもので、これにより市街地へのアクセス向上を図り、まちづくりに寄与しようとするものである。

Ｈ６年度事業化	Ｓ４６年度都市計画決定 （Ｈ１３年度変更）	Ｈ６年度用地着手	Ｈ１１年度工事着手

全体事業費	４３億円	事業進捗率	９６％	供用済延長	０km
計画交通量	９，９００台／日				

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ (事業全体) ３．２ (残事業) ８０．５	総費用　(残事業)/(事業全体) ２．２/５５億円 事　業　費：1.7/ 55億円 維持管理費：0.5/0.5億円	総便益　(残事業)/(事業全体) １７７/１７７億円 走行時間短縮便益：165/165億円 走行経費減少便益：9.6/9.6億円 交通事故減少便益：2.7/2.7億円	基準年 平成２０年

感度分析の結果　事業全体を対象

交通量変動：B/C=3.5(+10%)、2.9(-10%)　事業費変動：B/C=2.9(+10%)、3.6(-10%)　事業期間変動：B/C=3.1(+20%)、3.2(-20%)

事業の効果等

現道又は並行区間等における踏切遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される。

他20項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

伊勢南北幹線道路建設促進期成同盟会が結成されており、鉄道により分断された市街地の連絡及び都市交通の円滑化を図るため、早期の完成を強く要望されています。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成17年11月1日に周辺の4市町村の合併により、新「伊勢市」が誕生しました。伊勢市は伊勢志摩地域の中核都市としてさらなる発展が期待されており、これらを支援する道路ネットワークの形成が不可欠となっています。

事業の進捗状況、残事業の内容等

ＪＲ参宮線立体交差部の施工について平成１８年度に工事完了しました。引き続き高架橋部の工事を進めており、平成２０年度に高架橋部は概成する予定です。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

一部の土地が未買収となっていますが、早期買収を図るべく収用裁決申請手続きを進めており、土地収用を実行し、引き続き事業の進捗に努め、平成22年度の事業完成を目指しています。

施設の構造や工法の変更等

特になし。

対応方針	事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図